

50周年記念覆面座談会

新見和也

司会 本日は大阪市立大学文学部地理学教室が50周年を迎えるにあたり、昭和63年3月卒業の方を代表して3名の方に当時の思い出を語っていただきたいと思います。

B 何、しゃべっても無礼講やな。

司会 それは知りません。編集の段階で適当にやらはるんちがいますか。

A しかし50年か。そら、めでたい。

B あ〜らめでたやな。めでたやな。めでたいので祝うなら鶴は千年、亀は万年。

C また、わけのわからんことを。

A 地理学教室は厄かいな。

B ……厄はらいまひよ。

C 祓でどないすんねん。厄やないけど厄介もんかもしれんわな。大学にとっては。

司会 また、そーいうむちゃくちゃをゆう。

B そやけど地理学って何の役に立つねん。

A あんまり役に立たへんな。

C 役に立つ、立たへんだけで学問を語るのはちょっとちゃうんちゃうか。

B でもな就職の面接の時に地理学とはどのような学問ですかって聞かれた時には困ったで。

A 地理学的視点で物を見るっていわれてもなあ。

C 今年の予餞会でこれからは地理学の時代が来るってゆうてた先生がおったがな。

B えらい先生らしいで。

C そんなんも知らなかったんか。

A 地理学の時代か。来るかな。



- C う～ん、むつかしいな。
- B けえへん。けえへん。来ない方に5000点。
- A 俺は竹下景子に全部や。
- 司会 クイズダービーやないねんから。それでは話題をかえて、皆さんは何故地理学科を選んだんですか。
- A 特になし。
- B 別になし。
- C 鉄道が好き。
- 司会 シンプルな理由ですね。折角、話題を変えたというのに。それではお世話になった先生方の思い出についてはどうですか。皆さんが授業を受けたのはHa先生、N先生、Hi先生、Y先生、I先生でしたね。まずHa先生というと
- B 私の演習の発表の時、寝てはりました。
- A うん。確かに寝てはったわ。
- C 俺も授業中によお寝てたけど、教員で寝てはったんはあの人だけやな。
- B でも、いつもニコニコしてはって。孫の話とか、車の免許取った話とか。
- A そうそう、アウトバーンをぶっとばした話とか延々としてはったもんなあ。
- C 学会ではカミソリHとあだ名のあった人らしいけどな。
- B まあ我々相手に本気出してもしゃあないがな。
- A それもそや。
- C 九州巡検の時、佐賀の商店街走らしたら、機嫌悪かったな。
- B よお煙草吸うてはったもんなあ。
- C Ha先生ゆうたら、巡検中に風呂場で見てんけどええ身体してはった。背中なんか一枚岩みたいや。
- B ああ、あの猫の踊れそうな背中。
- A どんな背中やねん。でもあの背中を一度流してみたかったなあ。
- 司会 つぎにN先生ですが。
- A ダンディでしたな。巡検の写真を見たらいつもポーズを決めて写ってはる。
- C シルバークレーっちゅうやっちゃ。京女に居てはるそうやけどモテモテやろうね。
- B N先生に頼んで合コンしようか。
- C 先生の顔に泥を塗ってどないすんねん。
- A 僕らが学生やった当時N先生の部屋は居てはっても電気がついてなかったなあ。
- B 真っ暗な部屋で何してはったんやろ。ロシアのスパイ説もあったで。
- C それは君がゆうてただけや。
- A まあN先生は我々より一つ下の学年の方がお気に入りみたいやったな。
- B あの踊り子さんたちの学年やな。巡検の余興の時嬉しそうにこの国の踊りかあててはったもんな。
- C まあ君ら、そおひがまん。しかし、金曜1限の地誌学には参った。ねむうて、ねむうて。
- B 俺なんて3回で取ったから、かかる憂き目を見んでも済んだわけや。教科書も前年に単位取っ

たやつにもろたし。

A 教科書くらい買いいな。

司会 現役市大最年長のHi先生はどうでしょう。

A よお遊んでもろたな。今も遊んでもろてるけど。

C それは例の12月の五助ダムバーベキューパーティのことやな。

B 今年で14回目。2000年で15th. Anniversaryやね。

A 記念誌だそか。

C よお続いてるなあ。あれ。

B あれが済んで、年の暮れやなあ。今年も一年終わるねんなあと。

A 終わって、帰りの車のなかで次回まであと何日と指折り数えてるもんなあ。

B だいたい、夏頃から話題でるし。

C 君らだけや。楽しみの少ない人生を送ってるようやな。

AB ほっといてんか。

B いろいろ一緒にやったわ。屋上でソフトボールの練習とか。

A 土砂降りやのにおたふく山まで月見に行ったりとか。だいたい雨が降ってるのに月見に行こ思
うか。ふつう。

B そやそや、『西の空が少し明るくなってきたねえ。とりあえず行ってみようか』ゆうて。

C 行く方も行く方やけど。

A それでも神戸の夜景を見て乾杯して。帰りがけに一瞬チラッとやけど、月、見えたがな。

B 執念やね。お月さんもあきれてはったんやろ。

C 巡検の時はいつも独走してはったなあ。

A そうそう一人だけ勝手にどっか行ってね。

B かなん人やな。でも奥さんはええ人やで。料理は上手やし。お土産にケーキも用意してくれはるし。

C 四国の列車の中で見初めたらしいけど。

A なれそめの件はまだちゃんときけてへんなあ。飲んでる時でも『この程度の酒では、しゃべれ
ないよ』っていつもゆうてはるしなあ。

B 結構、てれやさんなんかも知れん。

司会 現学部長、Y先生はどうでしたか。

C Hi先生が無茶の人やったら、あの人は無理の人やなあ。

A 得体の知れんところがあるなあ。

B 伊豆の巡検の時やったけど、山の中の宿で周りに何もないとこやのにやなあ、夜遅うに『カ
レー喰いたい』言い出してな、三島まで行ったらなんとなかなるやろって。

C 誰が行くねん、誰が。まあ、我々凡人にはついていけませんわ。

A スリランカにはついていったで。あの年はY先生は海外出張あたってはってな。翌年の春休み
に現地でおおういうことになっせん。

- B 酒の席でな。
- A 地理学を学ぶ者として、海外には一度行かなあかんって言われてな。
- B 『はいはい、そらそうですわ。行きます、行きます』言うてな、それが夏前や。
- C そのあときっちり忘れてて、年越してから思い出したんちゃうかったか。
- A そやねん。あわててドイツまで電話して。
- B ようけテレホンカードが要ったで、あん時は。
- A そんなこんなであわててチケット取って。行ったがな。スリランカまで。
- B 男2、女2でな。なんであそこでロマンスが生まれへんかったんやろ。
- C ピュアやったんやな。
- B いや、そんな余裕がなかったんや。バスから落ちたり、車と接触して6針も縫う奴がおってな。しかも2日続けてや。それが。
- A 現地の人間が手しか洗えへん水を飲んで、次の日、一日黙り込んでた奴に言われたないな。
- B でも、あの旅行は楽しかったで。Y先生のおかげやな。
- A 普通では体験だけへんようなことを随分味わわせてくれはったからなあ。
- C そやけど、スリランカの本を書くゆうて、そのままやで。
- A ほんまや。いつになったらできるねん。
- B はよ、書いとくなはれや。待ってます。

司会 最後は講師、すぐに助教授になったI先生ですが。

- B 我々を捨ててK大へ行ったあのヒゲの人ですか。
- C まあまあ、そない言わんと。市大同期やねんから。
- A 今でも難波の元カラツカジェヌの店に行ってはるんかなあ。俺、あそこで高い水割りを飲まされたからなあ。一杯4000円や。
- C そら、遅れてくるからやで。
- B 我々の知的レベルは早々に認めてくれはったな。流石やわ。
- A 実習で和歌山に行った時には殆ど遊んでやったもんなあ。西瓜を輪切りにして食べたり、すももの種の飛ばし合いをしたりしてな。
- C 怒らった時は怖かったで。2回の時、逆鱗に触れて年度途中で単位を落としたのが二人もおったがな。
- B そんなこともありましたな。私とちゃうけど。今はええ思い出やね。先生方に多謝。

司会 ちょっと、待った。もう一人居てはるように思うんですが。

- A そや、授業を持ってもらわんで済んだからなあ。俺らが2回生の時は院生やったし。
- B あの人を先生と呼ぶ屈辱を味わわんで済んだ最後の学年やな。
- C 4回当時、都市問題研究会と称して毎週土曜日にあびこに夕方集まって。20回くらいやったかな。
- A 飯つくって、和菓子でお茶飲んで、トランプしてただけやがな。しょうもない話しながら。
- B 変則七並べは姑息な人間が強いねん。

